

RI内用療法薬剤の供給不足に関するお知らせ

公益社団法人日本放射線腫瘍学会では、がんの3大療法の一つである放射線治療の普及、安心して放射線治療を受けられる啓発活動を国民の皆様に行っていくことを学会事業の重要な柱として取り組み、近年のがん放射線治療技術の進歩により、通常の放射線治療に加え、RI内用療法（標的アイソトープ治療※）についても、関連学会と連携して発展させたいと考えております。

このたび、このRI内用療法の投与されるヨウ素等の薬剤につきまして、現在、大半が海外生産に依存していることから、供給が不安定となっているとのことで、治療の途中で、変更や休止をお願いする等の事例が見られとの報告を受けました。当学会といたしましては、関連学会と連携し、関係各所へ働きかけを調整中であります。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2023年1月30日

公益社団法人日本放射線腫瘍学会

※病気箇所に集まる性質をもつラジオアイソトープ（放射線同位元素）を飲み薬や静脈注射により体内に取り込み、放射線治療によってがん治療や疼痛の緩和を行う療法[投与薬剤が特定の部位に集まる性質を利用し療法で治療による正常組織への悪影響が軽いことが特徴]

